

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いちごハウス			
○保護者評価実施期間	2024年 8月 30日		～	2024年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	2024年 8月 30日		～	2024年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お出掛けやお買い物等社会生活のルールを学ぶ機会を設けている。	支援計画に沿った個別の課題に取り組んでいる。	今後も個別、集団の療育をバランス良く行っていく。
2	集団遊びに力を入れており、年齢に関係なく楽しく活動している。	子どもたちが飽きないような集団での遊びを提供している。	年齢に関係なくみんなで遊べるように子どもたちとルール等も相談して進めていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携があまりできていない。	イベントの時は、地域の行事に参加している。定期的な密接に関わることはできていない。	今後も積極的に地域行事に参加していきたい。
2	保護者会の開催回数が少ない。	日程調整が難しい	できるだけ保護者の方の御意見を聞き、開催に向けて調整していきたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 いちごハウス

公表日 2024年10月30日

利用児童数 2024/9/30現在 28

回収数 24

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	4		1	自宅のような雰囲気が良いと思います。 少し狭いと感じる。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1		1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	7		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	5		4		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	5		9		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2	10		12		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	3		20		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	10		10		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1			電車でのお出かけがあって、とても良いと思う。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	11	5	1	周知されていないように思います。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4		10	10		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	6	3	12		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1		2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20			4		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	7	3	1	自分から進んで参加できていない。何人か幼稚園時代からのママ友がいる。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	9		1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	2		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	6	1	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	8		3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1		7		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	3		5	特にそういうことがないです。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		いちごハウス				公表日		
						2024年	10月	30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		個別・集団療育は別室にてスペースを確保している。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10		法令で必要とされる人員を確保している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		広々とした空間で活動しており、バリアフリー化している。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		毎日療育終了後清掃を行い、清掃を保っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		個別療育は別室にて使用している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		毎月職員会議にて振り返りを行っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		内容は職員と共有し改善策を話し合っている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員会議にだけでなく、いつでも話せるような機会を提供している。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	第三者委員をつけられるよう努める。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		外部研修に参加し、内部でも研修を開催している。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6	職員と企画中であり、出来次第公表する予定。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		半年1度、面談を行い作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員の意見を取り入れながら作成している。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		毎日業務に入る前に確認しあい支援している。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		日々の活動内容を記録し、確認している。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	毎月活動内容を作成し、保護者に配布している。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		子供達も交えて皆と楽しく遊べるよう、やりたいことを提案してもらっている。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		個別では学習や製作、集団ではみんなで遊べる内容を計画し支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	2	その日の子供の支援内容や注意事項を確認し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		その日の活動内容を記録しその場で話し合い共有している。パートの支援者には、記録表を確認してもらっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		問題点が生じた際は相談員に連絡を取り、改善につながるよう話し合いの場を設けている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		半年1度、面談を行い見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		子供達で遊びの協議をしたり、買い物で好きなものを選ぶなど、楽しみながら行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	3	相談員がついている子供に関しては、学校との連携がほぼできている。	セルフプランの子供に関しては学校との連携が上手くできていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	1	毎月送迎表とお便りを提出し、下校時刻は学校や保護者より連絡してもらっている。トラブルの際はその都度電話にて対応している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			卒園後は交流できていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			学校を卒業する子供はまだいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5		全くないのでこれからの課題である。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		送迎時に気になる事などお伝えし、連絡帳にて共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		自事業所にてあいふあいの研修や保護者会を実施し情報提供している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に必ず説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		見学に参加した時や契約時に確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		面談の際に説明を行い同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		相談員には適時迅速に対応している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2		保護者会の回数を増やしていきたい。兄弟同士での交流はできていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		苦情があれば迅速に対応し、子供との話し合いの場も設けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		Instagramや月に1度のお便りを配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		人見知りや場面緘黙等障がいの特性を鑑みると地域住民を招待する事はかなり難しく課題である。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		各マニュアルは配布し、訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		防災センターへ行く等、年3回程度で訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		てんかん発作に関しては、病院の意見書を提出してもらい、緊急時に対応できるよう常に準備している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10			現在アレルギーをもつ子供はいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		規定のマニュアルを作成しており、訓練や研修を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約時に説明を行い、マニュアルを配布している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		ヒヤリハットがあった時はその日の内に書類を提出し、確認し検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		毎月職員会議の時に研修を実施し確認している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9			現在身体拘束を行う子供はいない。